

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22067	事業名	林業生産活動支援事業			
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					
	施策体系	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上		予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	03:農林業の振興			款	06:農林水産業費
		施策の方向	04:林業経営の安定化			項	01:農林水産業費
		重点プロジェクト	03:「しなやか田園都市」プロジェクト			目	06:林業振興費
事業期間	H 21 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等	利用間伐事業等補助金交付要綱 ほか				

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	産業環境部
課	農林振興課 農林政策G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	昭和55年をピークに木材価格と採算性は下落し、長期にわたり低迷する中、担い手不足などから所有者自身による効率的な施業を実施することが困難な状況となっており、林業事業体への長期施業委託を促進し、安定した事業量の確保と経営の安定化を図る必要がある。	林業事業体	林業事業体の安定した事業量の確保と経営の安定化を図ることにより、林業事業体による適切な森林整備が行われ、森林の持つ多面的機能が一層発揮される。	林業事業体が国・県の造林補助を受けるために必要な経営計画を作成するための合意形成活動などに対する支援を行う。また、林業事業体が行う利用間伐、作業路開設に対し補助を行うとともに、木材として利用価値のあるものだけでなく、森林内に放置されてきた樹木が木質バイオマスエネルギーなどに有効利用されるよう木材搬出に対する補助を行う。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○森林経営計画作成推進事業補助金の交付 ○利用間伐事業等補助金の交付	○森林経営計画作成推進事業補助金の交付 ○利用間伐事業等補助金の交付	○森林経営計画作成推進事業補助金の交付 ○利用間伐事業等補助金の交付	○森林経営計画作成推進事業補助金の交付 ○利用間伐事業等補助金の交付
	活動実績 (計画通り実施できたか)	2林業事業体に対し森林経営計画作成推進事業の補助を行うことで61.73haの間伐合意面積が得られた。 また、2林業事業体に対し利用間伐事業等補助を実施し利用間伐面積51.55ha、作業路開設延長870.11m、木材搬出量3983.493m³の実績が得られた。			
計画額	事業費	12,200千円	11,600千円	12,200千円	12,200千円
		国・県支出金	1,100千円	1,140千円	1,100千円
		地方債			
		その他			
	一般財源	11,100千円	10,460千円	11,100千円	11,100千円
決算額	事業費	11,600千円			
		国・県支出金	803千円		
		地方債			
		その他			
一般財源	10,797千円				
①期間内事業費(R4-7)		48,800千円	②期間外事業費(R8-)	-	①+②総事業費

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	11,600千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	利用間伐面積	林業事業体による利用間伐の面積	成果	ha	計画値 実績値	60 51.55	60	60	60
木材搬出量	林業事業体による木材の搬出量	成果	m ³	計画値 実績値	2,500 3,983.49	2,500	2,500	2,500	2,500
				計画値 実績値					

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	A	林業事業体による森林所有者との森林整備に関する合意形成が図られ、森林経営計画作成の推進に寄与した。利用間伐や作業道の開設、間伐材の搬出に対し、利用間伐事業等補助金を交付したことで、林業事業体の経営の安定化に寄与した。
	十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
林業事業体	林業事業体の安定した事業量の確保と経営の安定化を図ることにより、林業事業体による適切な森林整備が行われ、森林の持つ多面的機能が一層発揮される。

(再掲)

⑥ 課題 (C)		事業の達成状況等を踏まえた課題事項
		木材搬出量の指標を大きく上回る成果が得られたが、林業事業体からは今まで以上に利用間伐による木材搬出量を増やしていきたいという声を頂いているため、これまで以上に木材搬出に取り組めるよう事業費の拡充を検討していく必要がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	継続(拡大)	施策の更なる推進に向け、事業の拡大・充実を図る。
	改善・見直し内容	
	令和5年度で対応する(した)もの 林業事業体が希望する事業量の把握を行う。	令和6年度以降で対応するもの 森林環境税の財源活用を検討し、必要に応じて事業費の拡充を行う。

【履歴】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A			
事業展開	継続(拡大)			

1次評価者	産業環境部 農林振興課 農林政策GL 鳥喰 さとみ
最終評価者	産業環境部 農林振興課長 水越 洋光